



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 太洋工業株式会社

コード番号 6663 URL <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 細江 美則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 阪口 豊彦

TEL 073-431-6311

四半期報告書提出予定日 平成27年10月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成26年12月21日～平成27年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,291	11.0	△96	—	△70	—	△82	—
26年12月期第3四半期	2,965	6.3	△85	—	47	—	23	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △40百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△14.05	—
26年12月期第3四半期	4.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	5,341	3,133	58.3
26年12月期	5,167	3,191	61.6

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 3,115百万円 26年12月期 3,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成26年12月21日～平成27年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,768	18.3	107	—	100	75.0	38	75.9	6.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	5,850,000 株	26年12月期	5,850,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	216 株	26年12月期	144 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	5,849,795 株	26年12月期3Q	5,849,856 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、企業収益の改善を背景として雇用情勢や所得環境が改善傾向にあり景気は緩やかな回復基調で推移した一方、米国が利上げ時期を模索していることから、中国をはじめとする新興国や欧州の景気に対する先行き懸念は強まり、本格的な景気回復には不透明感が残りました。

当社グループが属する電子基板業界は、引き続きスマートフォンや車載機器向けの需要がけん引する形で堅調を維持いたしました。また、更なる活性化を図るためウェアラブル機器、IoT (Internet of Things) 製品や医療機器向けの新市場を開拓していく動きは本格化に向かっております。

このような経済環境の下、当社グループの主力事業である電子基板事業をはじめ、商社事業等において売上高が増加した一方、基板検査機事業においては売上高が減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は3,291百万円（前年同四半期比11.0%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ325百万円の増収となりました。

損益については、支払手数料等の減少による販売費及び一般管理費の減少や、鏡面研磨機事業における売上高増加に伴う利益増加要因はあったものの、基板検査機事業における売上高減少に伴う影響や、検査システム事業及び電子基板事業における売上原価率の上昇の影響から売上総利益率が低下し、営業損失96百万円（前年同四半期は85百万円の営業損失）、加えて保険解約返戻金の計上がなくなったことから、経常損失70百万円（同47百万円の経常利益）、四半期純損失82百万円（同23百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(電子基板事業)

セットメーカーの一部であるカメラメーカー向けの売上は減少したものの、中小型量産案件を含めた受注獲得に注力した結果、引き続き中小型ディスプレイ向けの需要が堅調に推移し、セットメーカー向け及びFPCメーカー向けの売上はともに増加いたしました。損益については売上高が増加したものの、労務費等の増加に伴う売上原価率の上昇により、減益となりました。

その結果、売上高2,192百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益318百万円（同7.0%減）となりました。

(基板検査機事業)

車載用基板対応検査機の売上がなくなったことに加えて、新機能を搭載した通電検査機及び外観検査機についても引き合いはあるものの、受注獲得には至らなかったことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により、損失が拡大いたしました。

その結果、売上高163百万円（前年同四半期比49.8%減）、セグメント損失64百万円（前年同四半期は23百万円のセグメント損失）となりました。

(検査システム事業)

画像処理を要する視覚検査装置等の受注が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、検査システムの高精度化対応に伴う売上高外注加工費率の上昇により、減益となりました。

その結果、売上高185百万円（前年同四半期比29.1%増）、セグメント利益0百万円（同95.0%減）となりました。

(鏡面研磨機事業)

グラビア印刷向け及び産業機械向け等の受注が獲得できたことから、売上高は増加いたしました。損益については、顧客仕様に沿った製品の製造により売上高外注加工費率等は上昇したものの、売上高増加に伴う影響により、黒字転換いたしました。

その結果、売上高209百万円（前年同四半期比161.6%増）、セグメント利益25百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント損失）となりました。

(その他)

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業及びエレクトロフォーミング事業で構成されております。主として商社事業において需要が旺盛な中小型ディスプレイ向けの液晶モジュール検査システム等の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により、損失が縮小いたしました。

その結果、売上高540百万円（前年同四半期比65.9%増）、セグメント損失26百万円（前年同四半期は43百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、2,442百万円となりました。これは主として、たな卸資産が増加した一方、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ212百万円増加し、2,899百万円となりました。これは主として、社債の購入等による投資有価証券及び設備投資による有形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、1,219百万円となりました。これは主として、短期借入金が増加したこと及び冬季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、988百万円となりました。これは主として、割賦購入による長期未払金及び長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、3,133百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価が上昇したことによりその他有価証券評価差額金が増加した一方、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き欧米のFPC市場を開拓することで、医療機器・車載機器向けの新規顧客開拓を一段と進め、高い収益性が見込める顧客ニーズに応えた高難度製品の受注体制の充実・強化に注力してまいります。加えて、中国の協力企業と連携した小・中規模量産の受注の獲得を積極的に推進してまいります。また、高速かつ安定した高精度な検査の実現を図り、併せて価格競争力やブランド力の向上に取り組むことで、引き合いがある各種基板検査機の受注獲得を目指してまいります。収益面については、早期に高難度製品の品質安定化による歩留り改善を実現し、グループをあげて生産性向上と業務効率化によるコスト削減に努め、利益の確保を目指してまいります。

なお、平成27年12月期通期業績予想については、平成27年7月27日発表の「営業外収益の計上、及び平成27年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当初予想(平成27年1月30日発表)からの変更はありません。今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,055,348	935,375
受取手形及び売掛金	819,533	840,054
商品及び製品	212,042	243,405
仕掛品	218,012	244,526
原材料及び貯蔵品	82,469	87,887
その他	100,540	91,623
貸倒引当金	△7,409	△676
流動資産合計	2,480,537	2,442,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	483,721	470,630
機械装置及び運搬具(純額)	153,370	234,116
土地	1,447,174	1,447,174
その他(純額)	14,761	17,793
有形固定資産合計	2,099,028	2,169,715
無形固定資産		
その他	8,367	16,409
無形固定資産合計	8,367	16,409
投資その他の資産		
投資有価証券	412,809	538,894
その他	173,584	181,259
貸倒引当金	△6,688	△6,688
投資その他の資産合計	579,704	713,465
固定資産合計	2,687,100	2,899,590
資産合計	5,167,637	5,341,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	272,345	265,522
短期借入金	563,290	609,982
未払法人税等	13,521	1,597
賞与引当金	—	40,419
製品保証引当金	1,320	993
その他	296,467	301,122
流動負債合計	1,146,944	1,219,637
固定負債		
長期借入金	283,471	332,675
長期末払金	76,599	159,679
役員退職慰労引当金	158,366	165,272
退職給付に係る負債	303,417	323,801
資産除去債務	6,867	6,928
繰延税金負債	—	79
固定負債合計	828,722	988,436
負債合計	1,975,667	2,208,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,255	793,255
資本剰余金	916,555	916,555
利益剰余金	1,384,073	1,284,345
自己株式	△26	△43
株主資本合計	3,093,856	2,994,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,818	86,074
為替換算調整勘定	36,988	35,316
その他の包括利益累計額合計	90,807	121,391
少数株主持分	7,306	18,210
純資産合計	3,191,970	3,133,713
負債純資産合計	5,167,637	5,341,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年9月20日)
売上高	2,965,894	3,291,657
売上原価	2,139,240	2,535,098
売上総利益	826,653	756,559
販売費及び一般管理費	912,139	852,989
営業損失(△)	△85,486	△96,429
営業外収益		
受取利息	597	1,461
受取配当金	4,988	5,859
助成金収入	4,897	3,529
保険解約返戻金	105,436	—
貸倒引当金戻入額	313	7,184
作業くず売却益	7,686	11,933
その他	27,809	12,334
営業外収益合計	151,730	42,302
営業外費用		
支払利息	8,443	8,627
債権売却損	4,834	5,100
為替差損	4,189	1,790
その他	1,377	413
営業外費用合計	18,844	15,931
経常利益又は経常損失(△)	47,398	△70,058
特別利益		
固定資産売却益	—	1,212
投資有価証券売却益	6,804	—
補助金収入	9,422	—
特別利益合計	16,226	1,212
特別損失		
減損損失	14,970	3,155
会員権評価損	6,246	—
投資有価証券評価損	—	235
固定資産除却損	38	1,553
固定資産圧縮損	9,422	—
特別損失合計	30,677	4,944
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,948	△73,790
法人税等	12,814	△2,444
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	20,133	△71,346
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,589	10,832
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,723	△82,178

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月21日 至 平成26年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年12月21日 至 平成27年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	20,133	△71,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,867	32,256
為替換算調整勘定	453	△1,601
その他の包括利益合計	28,320	30,655
四半期包括利益	48,454	△40,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,975	△51,594
少数株主に係る四半期包括利益	△3,521	10,904

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年12月21日 至 平成26年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子基板 事業	基板検査 機事業	検査シス テム事業	鏡面研磨 機事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,091,363	324,912	143,435	80,206	2,639,917	325,976	2,965,894	—	2,965,894
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	81,933	149,169	2,800	—	233,903	37,547	271,450	△271,450	—
計	2,173,297	474,082	146,235	80,206	2,873,821	363,523	3,237,344	△271,450	2,965,894
セグメント利益 又は損失(△)	341,916	△23,216	11,646	△32,668	297,678	△43,091	254,586	△340,073	△85,486

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業及びエレクトロフォーミング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,073千円には、セグメント間取引消去4,365千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,439千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年12月21日 至 平成27年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子基板 事業	基板検査 機事業	検査シス テム事業	鏡面研磨 機事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,192,700	163,238	185,112	209,850	2,750,902	540,755	3,291,657	—	3,291,657
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	43,728	228,852	8,166	2,296	283,043	22,019	305,063	△305,063	—
計	2,236,428	392,090	193,278	212,147	3,033,945	562,775	3,596,721	△305,063	3,291,657
セグメント利益 又は損失(△)	318,149	△64,121	579	25,162	279,770	△26,397	253,373	△349,802	△96,429

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業及びエレクトロフォーミング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△349,802千円には、セグメント間取引消去等△7,491千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△342,310千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。